

autumnal rain front (秋雨前線)

“秋の長雨”と言いますが、今年ほど8月から9月にかけて雨が多かった記憶がありません。(やはり、地球温暖化の影響?)とここでこの“秋”は一体いつからいつまでなのでしょう。社会通念や気象学では9月・10月・11月を示しますが、二十四節気に基づく節切りでは立秋(8月7日)から立冬の前日(12月21日)までとなっています。つまり、盆前後の豪雨と先週の長雨はまさにこの“秋雨前線(停滞前線)”の影響が大きく、加えて台風直撃で追い討ちをかけたわけです。「では、この“秋雨前線”って何??」と疑問がわいてきますが、簡単に言うと「“秋の空気”と“夏の空気”の境目」のことです。秋になると北から寒気がやってくるので、南の暖気とぶつかってせめぎ合い、日本近辺で停滞し長雨になるのです。(天気については、2年生の3学期に理科で学習します。だから、3年生は十分わかっていますよね・・・)13日、やっと部活が解禁になったと思いきや雨続き。新人大会が月末に開催されるソフトテニス部にとっては“嘆きの雨”。また、駅伝練習にも大きく影響しています。しかし、どの学校も条件は同じ。あきらめず、しっかり頑張りたいと思います。これから先、雲一つない“秋晴れ”が続くこと。そして、ソフトテニス部も駅伝メンバーも“前線”に負けず“善戦”し、“天晴れ”の報告が聞けることを願っています。頑張れ、加中生!!!



~生徒会黒板より~

才能は開花させるもの センスは磨くもの

この言葉は、漫画“ハイキュー!!”(古舘春一 作)から引用されたもの。古舘さんは、中学・高校時代にバレーボール部のミドルブロッカーとして活躍、連載前からバレーボールを題材にした作品を描くという目標を持っていたそうで、2012年から『週刊少年ジャンプ』に連載されるようになったとのこと。解説には『この「才能は開花させるもの、センスは磨くもの」という言葉は、たとえ天才でなくても、毎日の努力の積み重ねが真の実力を身につけさせてくれるんだということを教えてくれ、私たちに「自分の力はこんなものではない、もっと自分磨きをしなくては」という勇気を与えてくれる』との記載もありました。つまり「努力を続ければ、必ず道は開ける」ということを意味しています。いずれにしても一読の価値があるようです。

私も中学時代、多くの漫画を読みましたが、今でも名言や名場面が心に焼きついています。漫画は非現実的な部分もありますが、名作には随所に真理をついた心に響くシーンが散りばめられています。漫画であっても『良いものは良い』のです。ただ、漫画ばかりに没頭するのは考えもの。何事もバランスが大切です。今、まさに読書の秋です。多くの良書を読み、心の糧とすることで、自分の才能を開花させ、センスを磨いて欲しいと思います。

